

診療科紹介 皮膚科

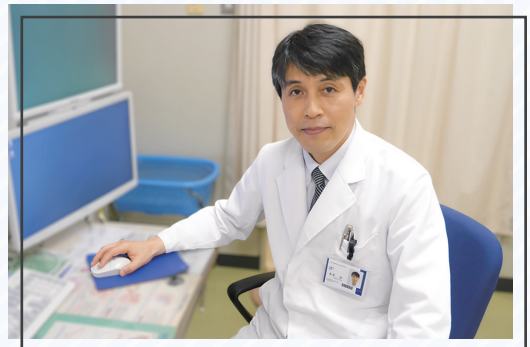
皮膚科の疾患について

はじめに

神鋼記念病院を御利用の皆様、はじめまして。2020年10月1日付けで皮膚科科長として着任した永井です。出身は神戸市中央区（旧葺合区）で、小学生時代には本病院の近くの公園まで自転車で遊びに来ていた記憶があります。生まれ育った神戸の地域医療を担う神鋼記念病院で診療できることを嬉しく思っています。前任の神戸大学医学部附属病院では、長年にわたり診療、教育、研究に従事してまいりました。大学病院では、診断や治療に難渋する症例の紹介が多く、そうした症例の診断や治療に従事して得た経験は私にとって大きな財産となっています。その経験を活かして地域医療に貢献できるよう頑張っていきますので、どうぞよろしくお願い致します。

皮膚科の疾患について

皆様がよく御存じの皮膚の病気として、アトピー性皮膚炎、蕁麻疹、円形脱毛症、水虫、にきび、イボ、ヘルペスなどがあると思います。もちろん



皮膚科 部長

永井 宏

Hiroshi Nagagai

神戸大学を平成4年に卒業。
日本皮膚科学会認定皮膚科専門医
などの資格を持つ。

これらの疾患は皮膚科で診断・治療を行っていますが、そのほかにも多種多様な疾患を対象としています。大きく分けると、アトピー性皮膚炎や蕁麻疹などのアレルギーが関連する疾患、乾癬や掌蹠膿疱症を代表とする慢性の皮膚炎症疾患、円形

脱毛症や水疱症（皮膚に多数の水ぶくれが生じる）など自己の皮膚成分に対する免疫反応による疾患、白斑（皮膚の色が白く抜ける）を代表とする色素異常症や、細菌・真菌（カビ）・ウイルスなどの感染による疾患、遺伝子の異常が原因で生じる先天性の皮膚疾患、皮膚の良性・悪性腫瘍などになります。また「**皮膚は内臓の鏡**」という言葉があるように、種々の内臓疾患（糖尿病、肝疾患、腎疾患、腸疾患、膠原病、血液疾患、内臓悪性腫瘍など）に特有の皮疹が出現することが知られています。そのような皮疹から上記の内臓疾患の存在が初めて判明することもしばしばあります。



高齡化社会と皮膚疾患

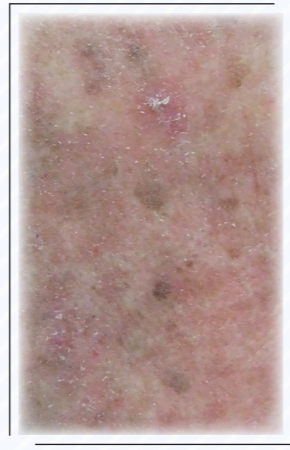
昨今の高齡化に伴い、増えてきている皮膚疾患があります。その中から3つを紹介させていただきます。

皮膚がん

1つ目は皮膚がんで、特に高齡者の顔や手の甲など露光部に生じる日光角化症（皮

膚がんの早期段階の病変）は、良性のシミと見分けにくいことがあり注意が必要です。日光角化症は長年の紫外線のダメージが蓄積した60歳以上の方で多く認められます。写真1のように少し赤みがあったり表面がガサガサしている場合には日光角化症を疑い、診断確定のために生検（病変部のごく一部を切除）による病理組織検査を行います。治療は手術による切除が確実ですが、多発している場合や境界が不明瞭な場合も多いため、外用薬による治療を行うこともあります。

写真1



水疱性類天疱瘡

2つ目は水疱性類天疱瘡という疾患です。これは写真2のような水疱（水ぶくれ）が多発する疾患で、皮膚を構成する成分に対して抗体が生じてしまう自己免疫性疾患です。診断は生検による病理組織検査と血液検査によって行います。治療はステロイドとい

う薬の全身投与が基本になりますが、軽症の場合やステロイドの副作用が問題となる場合は、他の治療法から開始することもあります。

写真2

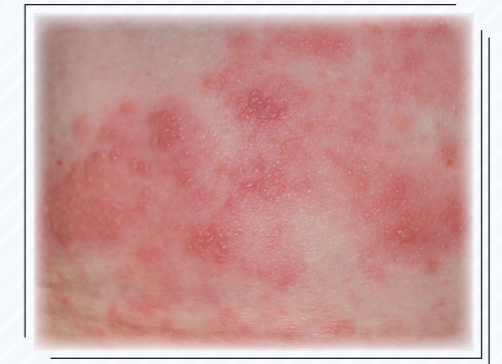


帯状疱疹

3つ目は帯状疱疹です。写真3のような小さな水ぶくれ（小水疱）を伴う赤い皮疹が神経に沿って出現します。皮疹の出現前にピリピリとした痛みを自覚される方が多いですが、痛みや皮疹の程度は様々です。以前にかかった水ぼうそうのウイルスが体内の神経節に潜んでいて、加齢や過労などが引き金となってウイルスが再活性化し、神経を伝って皮膚に到達して発症します。50歳以上で増加し、80歳までに約3人に1人が発症するといわれています。治療は抗ウイルス薬が基本となり、発病早期に開始するほど高い効果

が期待できます。通常、皮膚症状の改善とともに痛みも消えますが、後遺症として頑固な神経痛（帯状疱疹後神経痛）が残ることがあります。そのため50歳以上の方を対象に帯状疱疹の発症を予防するワクチン（自費）を接種することが可能となっています。

写真3



おわりに

当院皮膚科は日本皮膚科学会認定専門医2名が常勤医師として在籍し、皮膚疾患全般を対象に診療を行っています。近年、皮膚科領域においても新しい薬剤が次々と開発され、これまでの治療では効果不十分であったアトピー性皮膚炎や蕁麻疹、乾癬などの症例においても高い有効性を発揮しています。当院皮膚科では、最新の治療選択肢から患者さんの状態やニーズに応じた最良の治療を提供できるよう努めて参ります。皮膚の病気について気になることがありましたら、お気軽にご相談ください。